

主題：「法制度や行政施策が防災対策推進に果たす役割」

主催：東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻
消防防災科学技術寄付講座（関沢研究室）

URL：http://www.fse.t.u-tokyo.ac.jp

趣旨：

近年、新宿歌舞伎町のビル火災や宝塚カラオケ店火災、あるいは耐震偽装問題など、消防法や建築基準法の基準を遵守していない建物の存在やこうした建物での事故が問題となっています。たとえば、阪神・淡路大震災では、従来は予想もしなかったビルの倒壊が発生し、多数の犠牲者が出ました。また、高齢化の急速な進展に伴い火災による死者数は近年増加する傾向にあります。しかしながら、その一方で、物品販売店舗やホテルなど一般の防火対象物（特殊建築物）での事故や火災による被害は、人的損害、物的損害ともに近年一貫して減り続けています。この理由は、直接的にはこの間における建築材料や工法の防・耐火性能の向上、あるいは防災設備や技術の進歩、防火管理体制の充実などがあげられますが、これらの防災対策の推進を促してきたのは、様々な事故事例に対応して打ち出されてきた消防行政や建築行政による施策や法規制であると言えます。

そこで、今回は消防行政、建築行政において、防火や防災に長年携わってこられ、それぞれに豊かな経験と深い知見をお持ちの二人の専門家に、法規制や行政施策が防災対策推進に果たす意義と役割、そして実際に果たしてきた役割についてご講演いただくとともに、今後の課題についてフロアを交えて討論を行うことを目的として、本寄付講座主催の第4回公開セミナーを企画致しました。下記の要領で開催いたしますので、ぜひ多くの方にご参加頂きますようご案内申し上げます。

記

日時：平成20年8月8日（金） 13:30-17:00 （開場 13:00）

場所：東京大学 山上会館大会議室 （本郷キャンパス内三四郎池のすぐ近く）

主題：「法規制や行政施策が防災対策推進に果たす役割」

13:30-13:45 (1) 開会の挨拶と主題解説

東京大学消防防災科学技術寄付講座特任教授

関沢 愛

13:45-14:45 (2) 「建物火災の被害軽減に建築・消防行政が果たした役割」

危険物保安技術協会 理事

小林恭一

14:45-15:45 (3) 「建築法制と行政施策が防災対策推進に果たした役割と課題」

(財)日本建築防災協会 専務理事

杉山義孝

休憩（15分）

16:00-17:00 (4) パネルディスカッション（2名の講師、司会と会場）

※なお、講演会終了後 17:30 頃から同じ山上会館地階にて懇親会を設けます。

参加申込：講演会参加費は無料、参加（100名まで）申込締切は平成20年7月31日（木）。

申込は、以下の項目を記入して下記申込先に FAX, あるいは E-mail にてお申込み下さい。

1) 氏名 2) 所属 3) 連絡先（勤務先電話及び FAX or E-mail）

4) 懇親会への参加の有無（参加費 5000 円当日会場にて）

FAX (03) 5841-7327 E-mail : shobo@fse.t.u-tokyo.ac.jp